

旧 T G 会社の決算説明

石化事業好調により利益増

2017年5月17日

全石油ゼネラル石油労働組合

5月11日、旧TG会社の2016年12月期決算概要説明を受けた。石油事業は大きな利益減少となったが、石化事業が好調、12月の在庫評価損益プラスにより純利益は増加となった。

<2016年通期決算概要>

2016年通年の決算は、昨年的大幅な減収から回復した。

営業利益で810億円、昨年同期比790億円増。

しかし、石油事業では、342億円の減。国内販売は、+1.4%するも、世界経済の停滞、海外市場の悪化、川崎工場の定修の影響で輸出量は-19.2%と大幅に減った。

設備稼働率(常圧蒸留装置ベース)についても、川崎工場TAの影響から80%(前年-1%)と悪化した。

一方、石油化学はエチレンをはじめとする製品マージンが良好、千葉工場のMXUの稼働による増産など、182億円増と良化した。

2018年を目途に能力増強を予定しているNUCユニカーについても、安定した稼働も寄与し増益と言う事だった。

(億円)	2015年通期	2016年通期	増減
売上高	26,279	20,894	-5,385
営業利益	20	810	790
経常利益	-3	767	769
特別損益	92	-1	-93
当期純利益*	1	644	644
(営業利益の内訳)			
在庫評価損益	-871	80	950
のれん償却	-175	-175	-
調整後営業利益	1,065	906	-160
石油事業	798	456	-342
石油化学事業	267	449	182

石油事業	
'15年通期	798
・マージン	-263
・数量	-16
・経費	-63
'16年通期	456

石油化学事業	
'15年通期	267
・マージン/数量	165
・経費	17
'16年通期	449

以上